

校務支援システム導入状況調査結果概要

- ・ 本調査は、公立学校設置者に対し、校務支援システムの今後の導入見込みや、校務支援システムの活用状況等を把握することを目的に実施。
 - ・ 調査対象：全国の公立学校設置者 1815 自治体等
 - ・ 調査時点：令和3年5月1日
- ※毎年実施している「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」とは、調査対象、調査手法等が異なるため、単純な比較はできない。

1. 自治体等における校務支援システムの導入状況

【校務支援システム】	導入済み	: 80.4%
【統合型校務支援システム】	導入済み	: 68.9%

(参考：導入済みの学校の割合)

学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果

- ・ 校務支援システム R2.3: 88.2% → R3.3: 91.3%
- ・ 統合型校務支援システム R2.3: 64.8% → R3.3: 72.3%

【統合型校務支援システム】	導入見込み+導入済み	: 87.9%
	予定無し・未定(※)	: 12.1%

※学校数が1～5の自治体が7割以上。主な理由は下記。

- ・ 導入効果が低い。
- ・ 学校からのニーズがない。
- ・ 予算の確保が難しい。

- ・ 「校務支援システム」は、校務に関する業務等を管理する目的で、教職員が一律に利用するシステム。
- ・ 「統合型校務支援システム」は、「校務支援システム」のうち、グループウェア・学籍・成績・保健などを統合した機能を有するシステム。
- ・ いずれも表計算ソフトで作成したマクロプログラムなどは含まない。

2. 校務支援システムサーバーの運用形態

- ・ インターネットに接続している：48.7% → データを利活用できない仕様で運用している自治体等が多い。

3. 校務系データと学習系データの連携

- ・ 校務系と学習系のデータ連携が実施：4.2%
→ 別々の端末で同じデータ入力等が行われるなど校務の効率化に資するデータの連携が進んでいない。一方で、データ連携ができていない場合、校務系で作成した名簿を学習系での利用、校務系での学習系システムの利用状況が確認可能など、校務の効率化に資する取組が行われている。

4. 校務支援システム内のデータを自組織の他のシステムと連携

- ・ 実施：8.0%
- ・ 可能だが実施していない：19.9% → 校務支援システムのデータ利活用はあまり進んでいない。

5. 教職員が自宅等から校務支援システム等の業務を実施

- ・ 常時利用可能：4.7%
- ・ 希望時にのみ利用可能：5.3% → 校務支援システムが在宅勤務等に活用できるのは少数。